

拠出金名：東南アジア漁業開発センター拠出金

国際機関等名	東南アジア漁業開発センター (英文名称・略称) Southeast Asian Fisheries Development Center (SEAFDEC)					
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他		
所轄官庁担当局課名	水産庁国際課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単位	金額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レート		
平成18年度	151,635	1,366		1\$ = 111円	(2006年) 100	100
平成17年度	176,413	1,649		1\$ = 107円	(2005年) 100	100
平成16年度	181,358	1,649		1\$ = 110円	(2004年) 100	100
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2006年度決算)		
	国名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 2,364,376ドル		
1位	日本	1,366	100	当該年度の支出 1,528,628ドル		
2位				次年度への繰越 835,748ドル		
3位				会計検査機関名		
4位				P&A Audit Company Limited		
5位						
上記の率及び順位は2006年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
当該機関は、ASEAN加盟国と我が国で構成される国際機関であり、従来よりASEAN地域における漁業・養殖業・水産加工業に関する技術開発、調査研究、訓練を行ってきたが、近年は、活動を広げ、政策に関する活動も行ってきている。このことから、今後ASEAN各国と我が国との施策連携の強化及び漁業分野の協力を図っていくうえで大変重要な機関と考えており、我が国は拠出金を捻出、専門家派遣による技術協力及び会議への積極的な参加を行っている。						

「合理化、機能強化のための改革が行われているか」以下の項目については、「東南アジア地域開発・研究機関拠出金」(p.123)を参照

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。  
(参考) この国際機関には外務省からも拠出あり。